

地理

惑星トワイクロス

- ・ダイヤモンドシャーク占領地。X-:Y++ の位置で、ライラノ氏族の国境沿いで国境（「コーケンのお楽しみの場所」とか）からジャンプ3回
- ・常に雲に覆われた星、降下中に雷雲に突っ込むことも
- ・基本は熱帯。スコール・ゲリラ豪雪が起こる
- ・テーブルマウンテン的（？）な台地が多い。
- ・惑星上には Gondwana 大陸的な陸地が1つあるのみ
- ・資源的には貴重

惑星アウトリーチ

- ・概ね既知宙域（というか、いわゆるこの世界の宇宙地図）の中心近くにある。地球からみてやや南、連邦＝共和国宙域
- ・平均気温24℃、表面の75%が海で魚が豊富。
- ・2つの大陸があり、大きい方が首都、小さい方がまるごとウルフ竜騎兵団の私有地として利用されている模様。

惑星イレース

キャンペーン旧称：イリス（Irece/<http://www.sarna.net/wiki/Irece>）

キャンペーンの設定と違う気がするが、Clan Nova Cat に関する wiki(http://www.sarna.net/wiki/Clan_Nova_Cat#Irece)を見ると、このページが引かかる ...

- ・ジャンプ点距離 12.01 日 地表重力 0.99G 呼吸可能 平均気温 30℃ 海水面比率 44%(以上、3079 年現在)
- ・主要大陸：サンタナノサルバドルノバイアーノ
- ・地形特徴：標高 9700m のテンゴク (Tengoku) 山
- ・ドラコ連合の「北」側の氏族国境にある。X+:Y+ の位置。連邦＝共和国ドラコ境界域から見て、連合を挟んだ反対側の国境位置

なんか情報が多い惑星だなあーと思ったら管区主星じゃねーか！（LAM の生産情報から突き合わせた）

全然無関係だがイレースを舞台にした LAM 無頼という SS が妙にツボだったので URL を置く。複座 LAM をダイヤモンドシャークが持ってきてるつーあたり、これ「イビル・ツイン（氏族製複座 LAM）」じゃねーか・・・？

http://www7b.biglobe.ne.jp/~zabutonteihonpo/syoko/ks_14.html

惑星ラサルハグ

- ・重力 1.1G、平均気温 25℃（温暖）表面水面積 75% という聞いてるだけだとかなりよさげな惑星。
- ・大陸は3つ＋極地に1つあるように見える？
- ・一応主星だからメック製造くらいできるんだろーと思ったら降下船と武器と装甲（フェローファイバー）しか作っていないというカナシミ
- ・X0:Y+ の位置。3052 の地図だと氏族占領域の楔の切っ先くらいの位置

惑星クライゼル（仮）→タイドランド

- ・アーボーグって名前付けた気もしないではないんだがなー
- ・3050年のマップ (<http://sarna.s3.amazonaws.com/data/planets/sldf/3050.pdf>) に1つ惑星をデッチアゲして位置を決めるべきか？
 - ・条件は「ドラコ境界域(?)の恒星連邦の惑星」「軍管区主星系ではない(パナソレイ伯爵の関係)」というあたりだろうか。あと、「3100年代にドラコに取られない」も条件に入れた
 - ・とりあえず (<http://www.sarna.net/wiki/Emporia>) ここを挙げておく、ドラコ境界域の惑星だと存外「所有者以外のデータの無い星系」が多くて助かる・・・

アンジェリカ辺境伯領予定かつ現在 WoB 保護領と思われる惑星 (現在攻略中)

惑星名	人口	特性
Deneb Algedi	約 10 億	
Imbros	約 7 億 50000 万	

アンジェリカ辺境伯領予定かつ現在 WoB 保護領と思われる惑星及び地物一覧 (地球 - トレイリア - アルナイル三角内)

惑星名	人口	特性
Al Na'ir	約 6 億 5000 万	HPG(A) メック工場 × 2(うち一つはテック Lv2 装備作成可)
Addicts	17 億	HPG(B) メック工場 × 1(メック及び気圏戦闘機有り)
Errai	3 億	メック工場 × 2(うち一つは部品製作可)
Towne	6 億 5000 万	黒龍会拠点
Ankaa	3300 万	傭兵 Simonson's Cutthroats 拠点

アンジェリカ辺境伯領予定かつ現在 WoB 保護領と思われる惑星及び地物一覧 (ドラコ境界域版)

惑星名	人口	特性
Marduk	25 億	HPG(B) メック工場 × 1(後にオムニメック生産可)
Proserpina	21 億	工場 × 2(武器 1、車両及び VTOL1) プロセルピナ大学
Irurzun	約 50 億	HPG(B) 重要鉱物資源有り(詳細よくわからん)

文化とか歴史とか

- ・歴史については「出来事そのものは公式に書かれている(公式でも言葉をにごしている可能性的なものを含む)」のものを扱いたい

中心領域

- Jihad Secret から抜き出して適当に訳したところ + α

本来ならチャンドラセカール・クリタの著書で、実録がゴーストベアに渡っている

(コムスターと) WoB の「なぜ」

- ・コムスターの根本原理は「戦争のための技術の軽蔑」にある
 - ・ゆえに氏族と相容れることはない。これはコムスターも WoB も一緒に、ツカイード戦にコムガードが参戦した理由でもある
 - ・本来の歴史線では WoB の理想が実現できない(第二星間連盟が解散した)ことが、WoB による中心領域統一(聖戦)に至る理由であると考えられる
- ・WoB が対氏族部隊に切り替わったのが正史 3068 年前後
- ・保護領市民軍(地元軍) / WoB 市民軍(通常師団) / WoB シャドウ師団(対氏族師団)という感じ
- ・イラスト見てるとウルヴァリンの中心領域脱出は辺境の「北」から時計回りに「南西」まで来てる。マクヴィティ・フォーリーがたしか自由世界同盟の惑星なので、このイラストのルートは間違っていないんじゃないかな...

■ 星間連盟時代(ケレンスキーのエクソダス)

- ・この時代最後の中心領域第一君主はリチャード・キャメロン(この次の第一君主はスン＝ツー・リャオまで待たないといけない)
 - ・公式には子供は1人で、ステファン・アマリスの反乱時に殺されたことになっているが、実際にはイアンとアマンダの2人の子供がエクソダスしている

キャッスル・ブライアンの設備

http://www.sarna.net/wiki/Castle_Brian

http://www.sarna.net/wiki/images/f/fc/Castle_Brian_Devils_Tower.jpg

- ・Castle Brian Structures の項目では
 - ・Anti-Aerospace Bunker (対空兵器バンカー)
 - ・Castle Brian Aerospace Hanger (気圏戦闘機ハンガー)
 - ・Castle Brian Automated Anti-Personnel Turret (自動対人砲台)
 - ・Castle Brian Gun Emplacement (要塞砲) / 周囲に10数箇所
 - ・Command and Control Bunker (司令バンカー)
 - ・Fortified Brian Wall (防壁)
 - ・Large Portal (Mobile Structure) (機動兵器出入り口)
 - ・Reinforced Weapons Bunker (強化武器バンカー) / キャッスル中心部の周囲8箇所

Gun Emplacement の構造

http://www.sarna.net/wiki/Castle_Brian_Gun_Emplacement

- ・砲塔(最上層)
 - ・1x ガウスライフル
 - ・1x LB 10-X AC
 - ・1x LRM-10 w/ アルテミス IV
- ・2層
 - ・ガウスライフル砲弾7トン
 - ・LB 10-X AC 弾薬4トン
 - ・LRM-10 弾薬4トン

- ・ 6x MPL (ヘクスの各向きに対して 1 門ずつ)
- ・ 6x AMS (ヘクスの各向きに対して 1 門ずつ) w/ 弾薬 60 トン
- ・ 第一層
 - ・ 6x マシンガン (ヘクスの各向きに対して 1 門ずつ) w/ 弾薬 4 トン
- ・ その他設備
 - ・ 8x 兵員室
 - ・ 6x サーチライト (ヘクスの各向きに対して 1 個ずつ)
 - ・ 1 トンの通信設備
 - ・ 救急治療設備
 - ・ 1x ガーディアン ECM

Reinforced Weapons Bunker の装備

10 ヘクスで構成されているらしい

- ・ 訳すのが面倒なので概略だけみると
 - ・ ERPPC と LB 10-X AC と LRM-15 と AC20 で主に構成されたヘクス
 - ・ ロングトムとサンパーとアロー IV と LRM-15 で主に構成されたヘクス
 - ・ 120 型巡航ミサイルとレーザーで主に構成されたヘクス
 - ・ LB 2-X AC と LRM-15 と大きめの兵員設備で構成されたヘクス

の 4 種類に大別できる模様

■ 3025 年

- ・ のヘクス MAP ったのがあって、1 ヘクス 30 光年 = ジャンプ 1 回なんだとか。ロビンソンからアウトリーチまでジャンプ 9 回か・・・あとで PDF 上げる

■ 氏族侵攻 (3050 年代)

星域と文化

- ・ 恒星連邦
 - ・ 北米的な感じ・・・だっけ？
- ・ ライラ共和国
 - ・ 旧ソ連モデルらしい
 - ・ 「典型的なライラの無能な軍人」という言い回しは、つまり旧ソ連の将校的な言い回しなんだろうか
- ・ 自由世界同盟
 - ・ 西欧 (EU) 的・・・なんだろうか
- ・ ドラコ連合
 - ・ アメリカからみた大日本帝國的なモデルらしい
- ・ リャオ
 - ・ 中国
- ・ 聖アイヴス
 - ・ 台湾モチーフらしい、あだから独立したりリャオに吸収されたり・・・
- ・ ラサルハグ
 - ・ 北欧ベース

クライゼルの真実的なもの + α

- ・初代はこの基地情報士官のトップで、最終的なエクソダスの前に基地を譲り渡すという証書をもっていた
- ・エクソダス寸前にキャメロンの（死んだとされる）双子、コリーン・シュミット（初代ブラッドスピリット氏族長、遺伝的外見的特徴はほぼカリアナと一緒に）などが登場して会議室で一悶着あった
 - ・双子が最終的にどうなったかという決定的な証拠があれば、氏族の中心領域帰還の大義とか結構揺らぐ。可能性として残ってるのは死んだ／殺されたか、市井に混じったか、ミネソタ・トライブがこの惑星のどっちかに子孫が残ってるか・・・？
- ・クライゼル家のルーツはウルヴァリン氏族の片方（もう片方はミネソタ・トライブ）にあった。ノヴァキャットに急進派がいるのはこのせい
 - ・サカキ家など、その時の構成員をルーツとする一族もこの惑星にはそこそこいる
- ・真実の一部は当時の恒星連邦のトップ（国王）に明かされてる

ダヴィオンの家系

ハンスの子とマイケルの孫が同世代なのか・・・

- ・ハンス・ダヴィオン（現国王）
- ・メリッサ・シュタイナー（ハンスの妻）
 - ・ヴィクター・シュタイナー＝ダヴィオン（3030年生）
 - ・カトリーヌ・シュタイナー＝ダヴィオン（3032年生）
 - ・ピーター・シュタイナー＝ダヴィオン（3035年生）
 - ・アーサー・シュタイナー＝ダヴィオン（3037年生）
 - ・イボンヌ・シュタイナー＝ダヴィオン（3039年生）
- ・マリー・ダヴィオン（ハンスの異母姉）
- ・マイケル・ハセク＝ダヴィオン（ハンスから見て義弟・元ニューシルティス公、カペラ境界域司令官）
 - ・モーガン・ハセク＝ダヴィオン（3005年生、3029年からニューシルティス公、カペラ境界域司令官）
 - ・ジョージ・ハセク(II)（3030年生）
 - ・アンジェラ・ハセク（3010年生）
 - ・サイラス・ハセク（詳細不明）

RCT（連隊戦闘団）

第一ロビンソン軍団（1st ロビンソンレンジャーズ）は1個RCTで構成されている
具体的には

- ・1個バトルメック連隊
- ・3個装甲連隊（1個重装甲車、2個中装甲車）
- ・5個歩兵連隊（1個ジャンプ歩兵、2個機械化歩兵、2個通常歩兵）
- ・1個独立砲兵大隊
- ・1個気圏戦闘機大隊（定数18機）

で構成されている。ロビンソン軍団は最大時3個連隊戦闘団を持っている

- ・人口規模がわからんが、ウチの惑星ではどう考えても1個RCT作れない気がする

LCT

- ・今は無い編成

第一ロビンソンストライカー軍団は 1 個 LCT で構成されている
 具体的には

- ・ 1 個バトルメック増強大隊 (3 個中隊 + 指揮中隊)
- ・ 2 - 3 個装甲大隊 (重量級・強襲級)
- ・ 装甲大隊数と同数の機動装甲大隊 (中量級以下)
- ・ 1 個砲兵中隊
- ・ 最大 1 個連隊規模のバトルアーマー部隊

恒星連邦が RCT を維持できなくなってコンパクト化した諸兵科連合連隊

コムガードの軍構造 (http://www.sarna.net/wiki/Com_Guards#Structure_and_Composition)

階級	呼称	単位
アコライト (侍祭)	レベル I	メック / 気圏戦闘機 / 装甲車両 × 1 歩兵ユニット (歩兵 28 人 バトルアーマー 4 機) × 1
アデプト (司祭)	レベル II	レベル I × 6、中心領域の「半 中隊」相当
アデプト (司祭) / Demi-Precentor(准司教 ?)	レベル III	レベル II × 6、中心領域 3 個中 隊 = 1 個大隊相当
Precentor(司教)	レベル IV	レベル III × 6、中心領域 1 個 師団相当
同上	レベル V	レベル IV × 6、中心領域「軍」 相当
Precentor Martial(戦司教)	レベル VI	レベル V × 6、中心領域「軍 団」相当

同ページの下にある表は、レベル IV に割り当てられたギリシャ文字→部隊構成内訳 (単位: レベル I) を示している。

例) コムスター第一軍 (1st Army) 103 師団 (103rd Division) は Nu クラスのレベル IV なので、バトルメック 87 機、装甲車両 30 両、歩兵部隊 60 レベル I、気圏戦闘機 39 機が定数

■ 「光の剣」連隊

- ・ 現存は 1,2,5,7,8 の 5 連隊 (第 9 は聖戦期の創設なので、多分ここまで、Sarna.net では第 15 が 30 世紀に壊滅してる旨書かれている)
- ・ 第 1 「光の剣」連隊は 3050 年で 1 個連隊編成、3054 年 (正史での氏族戦後) で 2 個大隊まで減ってる

■ 夜行兵団

- ・ 現存は 2,3 の 2 連隊。いずれも 1 個メック連隊規模

■ 本来の歴史線における未来 (でも 3050 年代にも顕在してないだけで存在する)

■ワード・オブ・ブレイク（WoB）に関する諸々

成立の（本来の）経緯

- ・ツカイド戦での勝利と停戦
- ・コムスタートップ、ミンド・ウォータリーがスコピオン作戦を発動するもアナスタシウスに阻止される
 - ・具体的には HPG 通信網を停止させて中心領域を氏族占領域もろとも混乱させるというものだったらしい
- ・アナスタシウスと新しいトップのミンド・ウォータリーによるコムスター改革
 - ・明確になってないが、どうもこの2人、両方ともドラコ関係者っぽいんだよな...
- ・改革反対派（アトレウス司教アジズを中心とする）が離脱、ワード・オブ・ブレイクを名乗り、アトレウスのトーマス・マーリックを頼る
- ・WoB 賛同者（コムガード、ROM も含む）が相当数集まり、トーマス・マーリックは惑星ギブソンを与えて保護をする

WoB えらいひと

- ・アトレウス司教（ギブソン伯爵）アジズ
- ・WoB 戦司教キャメロン・サン＝ジャメ

聖戦の（本来の）理由

- ・「星間連盟の解散」で片付けていいんだろうか...コムスター / WoB も中心領域の統一（と、その影で自分たちが上に立つ）ことが目的だったので、それが達せられないのであれば自分たちで世界を占拠すべきだ、という理解をしてる

WoB（になった）軍隊はそもそも何のためにあったのか

- ・対氏族軍隊というのが本来だった模様。航宙艦とポケット戦艦を使って強襲し、氏族本拠地に核をぶち込んだらどうにかなるんじゃないか？という話

氏族

■ 3050年時点での列挙（順不同、適宜補填）

- ・ウルフ氏族
- ・ノヴァキャット氏族
- ・スモークジャガー氏族
- ・ジェイドファルコン氏族
- ・ゴーストベア氏族
- ・ブラッドスピリット氏族
- ・ダイヤモンドシャーク氏族
- ・ヘルズホース氏族
- ・ファイアマンドリル氏族
- ・スターアダー氏族
- ・アイスヘリオン氏族
- ・コヨーテ氏族
- ・スティールヴァイパー氏族
- ・パーロック氏族
- ・クラウドコブラ氏族

- ・ゴリアテスコープオン氏族
- ・スノウレイウン氏族
- ・ウルヴァリオン氏族（Not-Named Clan：追放）
- ・ブラックウィドウ氏族（ウルフ氏族に吸収）
- ・マングース氏族（スモークジャガー氏族に吸収）
- ・バーロック氏族（スターアダー氏族に吸収）

■軍構造

（<http://www.sarna.net/wiki/Clans#Military> から翻訳）

指揮官呼称（中心領域対応）	構成単位	構成内訳
-	兵士	当然兵士 1 人
スコードコマンダー	班	兵士 5 人
ポイントコマンダー（少尉）	ポイント	メック × 1 / 気圏戦闘機 × 2 / 戦闘車両 × 2 / エレメンタル × 5 / 班 × 5 / プロトメック × 5
スターコマンダー（中尉）	星隊	ポイント × 5
"	新星隊 (Nova)	メック星隊 × 1 + エレメンタル星隊 × 1（10 ポイント分の戦力）
スターキャプテン（大尉）	二連星隊	星隊 × 2
"	三連星隊	星隊 × 3
"	超新星隊 (Super Nova)	メック星隊 × 2 + エレメンタル星隊 × 2
"	三連超新星隊 (Super Nova Trinary)	メック星隊 × 3 + エレメンタル星隊 × 3
スターカーネル（少佐、中佐）	星団隊	二連星隊 / 三連星隊 / 超新星隊 / 三連超新星隊の組み合わせ × 2 - 5（20-150 ポイント相当）
ギャラクシーコマンダー（大佐）	銀河隊	星団隊 × 2 - 5（40-750 ポイント相当）

なお、海軍星隊という概念もあるが、これとは異なる。

下の星団隊構成を見てると、メックが 45 - 60 機に + α して 70 - 75 ポイント相当の戦力が 1 個星団隊っぽい。

スモークジャガーの構成は 5 個星団隊が 1 個銀河隊を構成するので、メックの数だけでいけば 300 機を超えないくらいかなーという感じ？

ブラッドスピリット氏族星団隊 (Cluster) 標準構成 (<http://www.sarna.net/wiki/images/7/7d/Clanbloodspiritstandard.png>)

ケレンスキーの標準構成を守っている氏族軍構成らしい。

- ・定数で75ポイントの戦力を持つ
 - ・3個メック三連星隊 ($5 \times 3 \times 3 = 45$ 機)
 - ・1個車両三連星隊 ($2 \times 5 \times 3 = 30$ 両)
 - ・1個歩兵三連星隊 ($5 \times 5 \times 3 = 75$ 人)

ブラッドスピリットに限らないが、定数不足の銀河隊・星団隊は解散して他の銀河隊などの損失を埋めるのに使われる模様。ニコイチか。

第5 ジャガー星団隊 (ルシエン戦時までの構成、参考)

- ・戦力換算70ポイント
 - ・4個バトルメック三連星隊 (指揮三連星隊・強襲三連星隊・第一戦闘三連星隊・第二戦闘三連星隊)
 - ・1個エレメンタル二連星隊

ノヴァキャット氏族シグマ銀河隊第179 打撃星団隊 (3052)

([http://www.sarna.net/wiki/179th_Striker_\(Clan_Nova_Cat\)](http://www.sarna.net/wiki/179th_Striker_(Clan_Nova_Cat)))

"Circle of Power" のニックネームがあるからこの星団隊がいま対決中だっけ？

- ・戦力換算75ポイント
 - ・指揮三連超新星隊 (3個オムニメック + エレメンタル新星隊)
 - ・戦闘二連星隊 (2個オムニメック星隊)
 - ・打撃三連星隊 (3個オムニメック星隊)
 - ・航空二連星隊 (2個オムニ戦闘機星隊)

■ 階級・組織の類

必ずしもこうなる、というわけではないが、たいていこうなってる

Solahma (ソラーマ)

年老いて、戦士階級に留まるだけの十分な実力のないメック戦士。氏族の価値観では戦いで死ぬことのほうがベッドの上で死ぬより名誉なことなので、ソラーマ星団隊と呼ばれる専門の後方星団隊に移る・・・らしい。ソラーマ星団隊は後述する二線級の一部を構成していると思われる

Second Line (二線級)

氏族内で最高の戦士たちが前線の銀河隊に配備されるのに対して、そうでない戦士(たとえばフリーボーンで優秀だが目覚ましいほどではない、とか、中心領域ボンズマンメック戦士とか、トゥルーボーンでも成績が悪ければこっちか?)は二線級戦士となる。配備されるのはオムニメックではなくバトルメック(戦車もこっちだろうか)になる。大抵のIICメックはそういう感じになる

(バトルメックでも前線銀河隊に配備されないわけではない)

たまに前線銀河隊に二線級メックを配備することもある。名誉の観点からいくとオムニメックと二線級メックの間にはやっぱり共通認識として差があるので、あえて相手に二線級メックをぶ

つけるとかということもあるようだ

シブコ/シブキン (Merc、2011 年後期更新履歴より)

同じ遺伝子を持つトゥルーボーンで構成された育成・訓練チームのようなもの（基本的に）。ウルフ氏族は各血統の戦士候補生を混ぜて構成する。構成員数は約 20 人からで、最大 100 人程度シブコを卒業する（＝階級の審判を通過してメック戦士になる）と、銀河隊に配備される。階級は神判の勝ち抜き数で決まるんだっけ？

- ・タイトルホルダーはナターシャ・ケレンスキーの 4 人抜きだとか見た記憶がある
- ・1 つのシブコから平均 4,5 人（多分 20 人中だから、20-25% の割合か）が戦士になるらしい
- ・階級の審判に失敗し、かつ生存したトゥルーボーンは民間階級行き

中心領域でもウルフ竜騎兵団はシブコを持っている（フリーボーンというか、孤児も相当多く含まれるが）

大氏族長 (IlKhan)

複数氏族が結束して何かを実行するときに選出される「氏族長中の氏族長」。真性工房時空 3051 年現在はウルリック・ケレンスキー（ウルフ氏族）が大氏族長。

氏族長 (Khan)

氏族の軍事上・政治上のトップ（したがって例外なく戦士階級）。族長会議など、複数の氏族に関わる政治には基本的に氏族長が対応する。

副氏族長 (saKhan)

通常 1 または 2 名。軍事的・政治的に氏族長の下、軍事的にはギャラクシーコマンダーの上の階級となる。氏族長が死ぬとたいてい副氏族長が昇格する
ちなみに氏族長と副氏族長は「軍事階級」でもある（中將とかそういう類）

ローアマスター

通常 1 名。戦士階級。政治にも関わるが影響力は限定的（見てる限りアドバイザーとして活躍することが多い）。警察や諜報上のトップ。氏族長へのキャリアステップでもあるらしい
ノヴァキャット氏族は「オースマスター」という、ヴィジョンを見通すための役職がある。GM が「ローアマスター 2 人」というのは、このオースマスターのことを指してるのではないが

ウォッチ

氏族の情報部的な組織のことを指す。ローアマスター指揮下にある。構成員が戦士階級かどうかはよくわからない。現在の形での設立は中心領域侵攻前後らしい

イルチ

「氏族の調和のために」という建前で全氏族に配されているブラッドスピリット大使

ブラッドネーム

公式に 800 ちょっとある。大氏族長は作ることもできる。ケレンスキーに選ばれた最初の 800 人の戦士の血統が源流になっている

特定の戦士の遺伝子系統のうち、もっとも優れた = 後世に残すべき戦士が持つ称号

例えば、ケレンスキーの遺伝子から生まれたシブキンが同一世代で争って最も優秀となれば、そのブラッドネームを獲得できるという寸法

ブラッドネームを持たない戦士と、戦士階級ではない氏族人は全員名前だけで、ファミリーネームを持たない。なのでエディはブラッドネームを持っていることになるわけだがその能力とは一体

- ・ 800 のブラッドネームには「ケレンスキー」を含まない（ニコラス・ケレンスキー / アン
ドリュウ・ケレンスキー / ジェニファー・ウィンソン）
- ・ ブラッドネームには同姓重複があるので、実際の姓ベースで 787（+ ケレンスキー・ウィ
ンソンの 2 つ）個らしい
- ・ リーヴィング戦争前時点で 660 まで減っている（氏族吸収による減少、ウルヴァリオン氏
族の殲滅 etc.）とされている
- ・ 「ケル」のブラッドネームを含まず

ブラッドライト

ブラッドネームを持てる戦士の数は 1 名字あたり 25 人で、これをブラッドライトというらしい

これを減らすのが剥奪（リーヴィング）の神判。本来は

氏族人の階級

基本「戦士は戦って勝つことで氏族に繁栄をもたらす。そのために強くなくてはいけない」「その他の階級は戦士をあらゆる面で補助する（理想的には、戦士は戦ってれば他のことは全部やらせるくらい）」という文化らしい

戦士以外の階級としては科学者・技術者・商人・労働者の階級がある（階級の高い順）。時代が下ると支援階級とか兵卒階級とかある氏族もあるが、3050 年代の氏族にはない。階級外として、こうした氏族社会からドロップアウトした人間を指す暗黒階級（無法者階級）という呼称もある。かれらは概ね盗賊・海賊の類であり、名誉はなく、したがって大抵二線級とかソラーマとかの部隊が討伐に当たる

上述したとおり、戦士階級以外はファミリーネームにあたるものを持たない。階級ごとに長（商人長・前任労働者 etc.）が置かれ、階級の意見を代表する。尊重されるかどうかは氏族ごとに違う

■作法の類

ゼルブリゲン（Zellbrigen）

- ・メック戦士は各々違う目標に対して攻撃をする。その場合自己の所属と「誰に対して挑戦するか」を通信で明示する
- ・メック戦士は一度に1つの目標とのみ交戦する
- ・中心領域の戦士からの挑戦（特に策略を弄していると疑われる場合）、重量級の違うメックからの挑戦で、他に適切な挑戦相手がいる場合などは、戦士は挑戦を拒否する権利を有する
- ・戦術的に許容されるとみなされる場合を除き、意図的な視線誘導、射程からの離脱、牽制射撃のような「命中を期待しない射撃」はデグズラとして、ゼルブリゲンの規約を全て無効にする
- ・間接砲、範囲効果攻撃、複数ユニットの結合で動作するシステム（C3やTAG）の使用は禁止される（氏族が持っていないとは言っていない）

デグズラ

- ・ゼルブリゲンに則ってない戦法、戦略
- ・相手が先にデグズラをするとこっちが対抗しても不名誉にならない
 - ・相手のデグズラを誘発する行動をするのは氏族的でない、クアイフ？
- ・相手がデグズラだとわかってるならそういう宣言をして、ゼルブリゲンを放棄する

入札

- ・特定の目標への戦闘行動の権利を2つ以上の個人・集団が争う。より少ない戦力を提示したほうが入札に勝利する
 - ・そして往々にしてヤバイくらい過小な戦力で戦うはめになる
 - ・入札を破ることは戦闘に敗北するよりは不名誉ではない（往々にして発生する）
- ・入札の制限がされることもある。氏族長が「入札なんかしてる場合じゃねえ」という戦略上の理由から、全軍投入したりとか

バッチェル（先制挑戦）

- ・攻撃側が防衛側に攻撃の規模、目的を明らかにして挑戦を行うこと
 - ・バッチェルの時点では「メック3個星隊」「完全1個星団隊」程度の表現
 - ・防衛側が応じて、戦力を明らかにした場合、防衛側は戦場を指定することができる
 - ・場合によっては詳細な戦力の開示とかするらしい。「第***打撃星団隊」とか？
- ・防衛側は拒否していい・・・のか？
 - ・中心領域は往々にしてうまく使う（守らないとは言っていない）
 - ・逆用されることがわかったので、氏族侵攻の初期以降は使用停止される

セーフコン

- ・安全に惑星に降着する権利
 - ・バッチェルを行った場合、戦場に完全な戦力を落とすことは当然の権利、という話やね
 - ・場合によっては航空優勢を使って阻止戦術を取る関係上、認めないこともある

スルカイ（スルカイレード）

- ・自らの行いを悔い改め、(氏族長などに)許しを得る行為(儀式)
 - ・自分や氏族に対する不名誉な行いに対する反省をし、それを上位の者が認めるという体裁になるらしい
 - ・発案者はニコラス・ケレンスキー

ボンズマン

- ・(往々にして捕虜となり)他氏族に(強制)移籍した戦士
- ・捕虜にならない選択肢として、名誉ある自殺を選ぶことができる。これをボンズレフと呼ぶ
- ・ボンズマンを取ることは、他氏族の優秀な戦士を自分の氏族に獲得するための方法でもある

アイソーラ

- ・戦利品のこと。神判に勝利した時に得られるものとして要求する場合もある(所有の神判)